

- 施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

●本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
●吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方をご説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げていても少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

●施工説明書・取扱説明書
「保証書付」×各1

座パッキン
(ホースガイドに貼付済)

ホースガイド

ナット
×3

シャワ受

ねじ(太)
×3

カバー

座パッキン
(シャワ受に貼付済)

カバーガイド

シャワヘッド
(切替)

胴

座パッキン
(防水ガイドに貼付済)

防水ガイド
(オーリング付)

座パッキン
(胴に貼付済)

レバー

止めねじ

六角レンチ
(対辺3mm)

六角レンチは、なく
ざないように保管
してください。

ガイドパイプ

クイックファスナー

ホース接続金具
(逆止弁・オーリング付)

抜け止め
カバー

シャワホース

寒冷地用

クイックファスナー

抜け止め
カバー

接続金具

水抜ジョイント
(逆止弁・
オーリング付)

接続金具
×2

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

■ ぞうきんなど：
配管中の残り水を
拭くのに使用しま
す。

- スパナ・モンキーレンチなど：
接続金具のナット
や袋ナットがまわ
せる工具。

- 使い古しのハブラシなど：
取付穴周囲などの
掃除ができる
もの。

- タオルなど：
ケガ防止や水栓
保護のために使
用します。

- 止水栓がドライバー式の場合に必要な工具
- マイナスドライバー

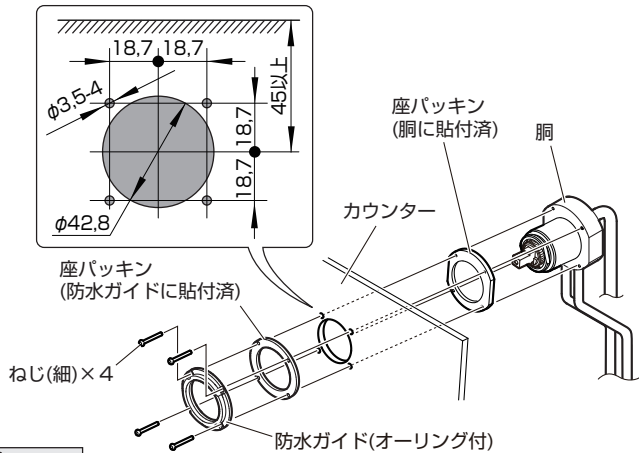
配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、**この場合には有償修理となります。**

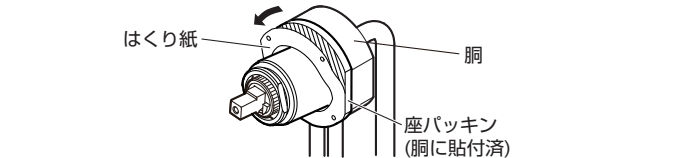
取付時に、強い衝撃が加わるような工具(インパクトドライバーなど)の使用は避けてください。

製品やカウンターの破損のおそれがあります。

- (1) カウンター穴の寸法を確認し、胴をねじ（細）で固定してください。（4箇所）

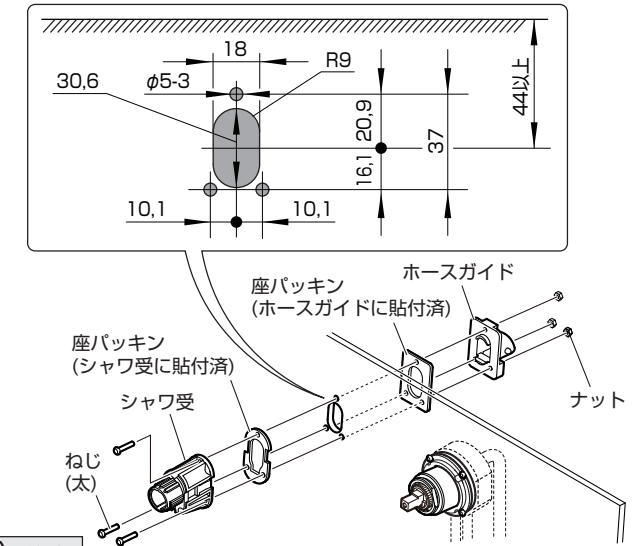


- 胴に座パッキンが貼付されていることを確認してください。
座パッキンが貼付されていないと、水漏れの原因になります。
- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、胴をカウンターに押しつけて固定してください。



- カウンターのねじ差込み穴と胴のねじ穴が合うように施工してください。
穴がずれると、取付けできないおそれがあります。
- ねじに緩みがないよう確実に締付けてください。
ねじが確実に締付けられていないと、胴が傾いたり、水漏れの原因になります。

- (2) カウンター穴の寸法を確認し、シャワ受・ホースガイドをねじ(太)とナットで固定してください。(3箇所)



- シャフト受・ホースガイドに座パッキンが貼付されていることを確認してください。座パッキンが貼付されていないと、水漏れの原因になります。
- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、ホースガイドをカウンターに押しつけて固定してください。

※シャワ受には、はくは付いていません。



- カウンターのねじ差込み穴とシャワ受のねじ穴が合うように施工してください。
穴がずれると、取付けできないおそれがあります。
- ねじ・ナットに緩みがないよう確実に締付けてください。
ねじ・ナットが確実に締付けられていないと、シャワ受・ホースガイドが傾いたり、水漏れの原因になります。

(3) シャワ受・胴にそれぞれカバーを取付けてください。

奥まで押し込む

シャワ受

銅

カバー

奥までねじ込む

(4) 止めねじを用いてレバーを胴の栓棒部分に固定し、レバーが左右に回転することを確認してください。

レバー

止めねじ

締付けトルクの目安
2N・m

六角レンチ
(同梱品)
(対辺3mm)

六角レンチは、なくさないように保管してください。

レバー

栓棒

銅

確認

注意

止めねじに緩みがないように確実に締め、レバーにガタツキがないことを確認してください。

(5) モンキーレンチなどを用いて、シャワホース先端部のホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）をはずしてください。

モンキーレンチなど

ホース接続金具

水抜ジョイント

シャワホース

手で固定する

手で固定する

(6) シャワ受・ホースガイドにシャワホースを通してください。

シャワホース

ホースガイド

シャワ受

(7) カバーガイドを開いてシャワホースに取付け、カバーガイドをシャワ受に確実ににはめ込んでください。

開く

シャワ受

カバーガイド

カバーガイド

確実ににはめ込む

注意

●カバーガイドの向きに注意してください。

●カバーガイドがシャワ受に確実にハマっていることを確認してください。

カバーガイドがハマっていないと、シャワホースがスムーズに動かなくなるおそれがあります。

シャワ受

カバーガイド

平らな部分を上にする

(8) シャワホースにガイドパイプを通して、ホースガイドに固定してください。

ガイドパイプの穴に、ホースガイドの凸部を確実ににはめ込んでください。

ホースガイド

凸部

ガイドパイプ

凸部に確実ににはめ込む

シャワホース

(9) モンキーレンチなどを用いて、シャワホース先端部にホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）を取付けてください。

モンキーレンチなど

ホース接続金具

水抜ジョイント

シャワホース

手で固定する

手で固定する

注意

ホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。

銅管・ホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。

銅管・ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

銅管・ホースが折れた状態でご使用にならないでください。

●銅管は曲げないでください。

●ホースの最小曲げ半径は50mmです。

ホースを必要以上の力で曲げたり、極端に屈曲しないでください。

●銅管を無理に引っ張ったりしないでください。

●銅管・ホース同士の不要な接触は避けてください。

摩擦による外傷で銅管・ホースの性能劣化の可能性があります。

シャワホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。

ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

●シャワホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。

●シャワホースの最小曲げ半径は50mmです。

シャワホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。

3 接続金具を取付けます。

カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから接続金具を止水栓などに固定してください。

接続金具

パッキン

止水栓

注意

●緩みがないように確実に締めてください。

接続金具が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。

●パッキンが入っていることを確認してください。

パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

4 接続金具と給水・給湯ホースを接続します。

(1) 接続金具の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと接続金具のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

①はずす

抜け止めカバー

接続金具

給湯ホース

給水ホース

差し込む

②はめ込む

注意

●接続金具のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。

●抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

(2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと接続金具のツバ部に確実ににはめ込んでください。

次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。

①はめ込む

クイックファスナー

ツバ部に確実ににはめ込む

②はめ込む

抜け止めカバー

注意

●クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いには注意してください。

●クイックファスナーは、広げないでください。

●給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。

5 シャワホースを接続します。

注意

ホース接続金具（寒冷地用の場合は水抜ジョイント）とシャワホースをはずした場合は、回らなくなるまで締付けた後、工具などで確実に締付けてください。

(締付けトルクの目安：1.5N・m 締付けラインを目安に締付けてください。)

締付けライン

水抜ジョイント

締付けライン

(1) ホース接続金具（寒冷地用は接続金具）の抜け止めカバーとクイックファスナーをはずし、シャワ側接続部にホース接続金具（寒冷地用は接続金具）をツバ部のすき間がなくなるまで差し込んでください。

注意

●ホース接続金具（寒冷地用は接続金具）のオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。

●抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

●クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。

●クイックファスナーは、広げないでください。

抜け止めカバー

クイックファスナー

シャワ側接続部

①はずす

②はずす

③差し込む

④まっすぐ

ホース接続金具

①はずす

②はずす

③差し込む

④まっすぐ

接続金具

シャワ側接続部

水抜ジョイント

注意

シャワホースは、止水栓などに引っ掛からないよう、給水・給湯ホースの後ろ、止水栓などの上側を通してください。

シャワホース

止水栓

注意

シャワホースは、止水栓などに引っ掛からないよう、給水・給湯ホースの後ろ、止水栓などの上側を通してください。

(2) クイックファスナーをシャワ側接続部とホース接続金具（寒冷地用は接続金具）のツバ部に確実ににはめ込んでください。

次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。

注意

●クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いには注意してください。

●クイックファスナーは、広げないでください。

●シャワホースを下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。

●シャワヘッドを引き出し、シャワヘッドがスムーズに動かを確認してください。

シャワ側接続部

ツバ部

ホース接続金具

クイックファスナー

抜け止めカバー

①はめ込む

②はめ込む

③はめ込む

ツバ部に確実ににはめ込む

①はめ込む

②はめ込む

③はめ込む

ツバ部に確実ににはめ込む

水抜操作ハンドルをClose方向に空回りするまで回してください。

Close 方向

水抜操作ハンドル

注意

ロック部が確実に上がっている事を確認してください。

通水するとニップル部から抜けるおそれがあります。

Close 方向

水抜操作ハンドル

ロック部

6 ガタツキ・水漏れチェックをします。

接続後、各部にガタツキがないか必ず確認してください。

ガタツキの確認後、止水栓を開いて各部に水漏れがないか必ず確認してください。

水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。

確認

ガタツキはないか

水漏れはないか

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。

構造をご理解いただくのにご使用ください。

スプレーヘッド組品

●KXS37W-TD(TDC)

MSXS80-80X-W-TR

●KXS37G-TD(TDC)

MSXS80-80X-C-TR

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

補修用性能部品

シャワーホース組品

MK3701-563X1-1,1

11

12

13

14

15

16

17

18

19

補修用性能部品

シングルレバー用カートリッジ

PU101-120X

20

21

22

23

24

補修用性能部品

ホース接続金具

MV84-1269X

寒冷地用

補修用性能部品

ホース接続金具

MT23-1372X

補修用性能部品

水抜ジョイント

ML9-56K

KXS37W-TD

KXS37G-TD

一般用

1. シャワヘッド(切替)

2. ストレーナ網

3. シャワホース組品

4. カバー

5. 止めねじ

6. シャワ受

7. 座パッキン

8. 座パッキン

9. ホースガイド

10. ナット

11. レバー

12. カバー

13. 防水ガイド

14. 座パッキン

15. カートリッジ押え

16. シングルカートリッジ

17. 座パッキン

18. 止めねじ

19. 胴

20. 接続金具組品

21. ホース接続金具(逆止付)

22. ガイドパイプ

KXS37W-TDC

KXS37G-TDC

寒冷地用

23. 接続金具組品

24. 水抜ジョイント

株式会社 三栄水栓製作所

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

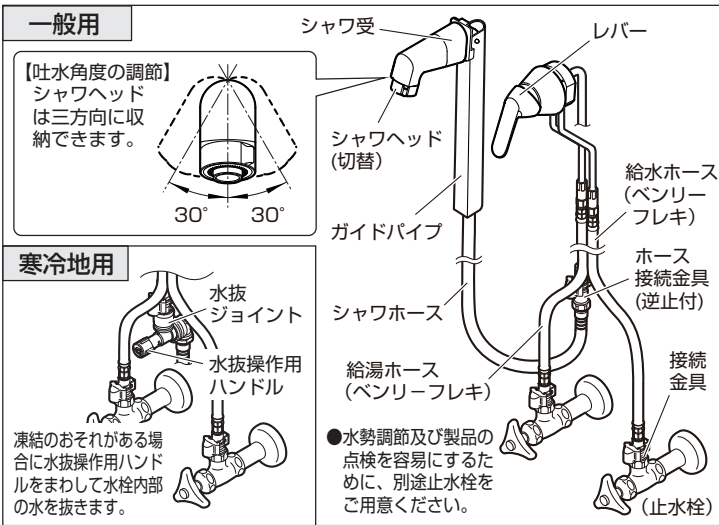
TEL 大阪 (06)6976-8661

TEL 東京 (03)3683-7496

取扱説明書

- ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
- 保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

●本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
●吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。



●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。

いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明	
警告 ……	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
注意 ……	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
 ……	「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
 ……	「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
 ……	「分解してはいけません!」
 ……	「指示した場所に触れてはいけません!」
 ……	「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

警告

- 小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。
 - 🚫 製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。
 - 🚫 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ❗ ストレーナの掃除をする際は、止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
 - ❗ 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

-  定期的に配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
水漏れなどの事故の原因になります。

 高温の湯をお使いのときは、シャワホースに直接肌を触れないでください。
シャワホースは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。

(給湯器の設定温度について)
 給湯温度は最高85℃まででお使いください。
85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。

 シャワには高温の湯（60℃以上）を通さないでください。
給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。
シャワヘッドが破損し、やけどをするおそれがあります。
安全のため、適温でのご使用をおすすめします。

 レバーの温度位置を確かめて吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

 レバーは、ゆっくり動かしてください。
レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

 高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。
次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

 他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

 解氷機やアースを水栓に通電しないでください。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

(樹脂メッキ付部品の場合)
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる	●落とす	【樹脂メッキ部品の例】 ・シャワヘッド ・ハンドル、レバー ・シャワ受 など
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。		

 シャワ受先端やレバーに重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。

 シャワをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

 シャワホースをねじったり、無理に曲げないでください。
シャワホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 シャワホースやシャワ受に水をかけないでください。
水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

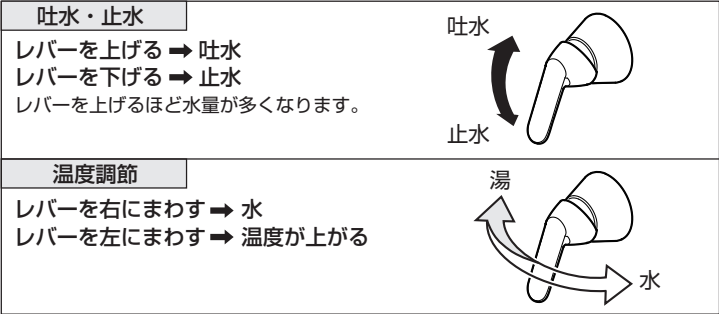
 シャワホースを引き出してお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワヘッドやシャワホースをつけないでください。
汚水が器具に逆流したり、水がシャワホースを伝わって落ち、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 シャワヘッドをシャワ受に収めた状態でシャワヘッドを回さないでください。
シャワヘッドが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

(寒冷地用の場合)
 凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

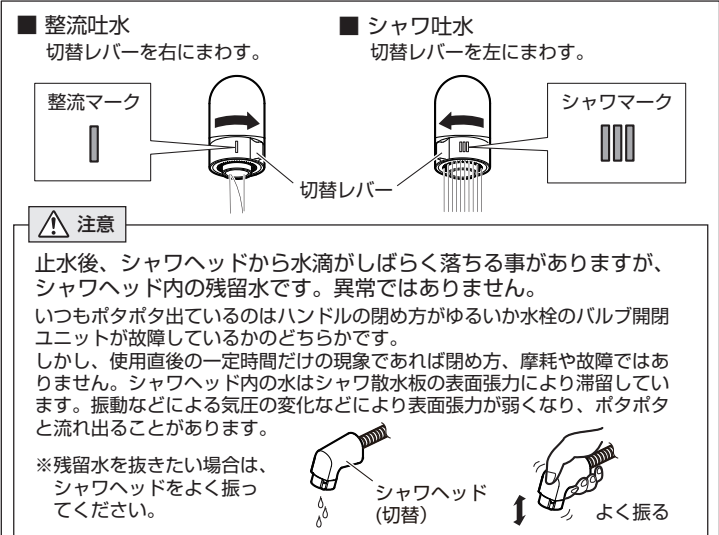
(寒冷地用の場合)
 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。
水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。

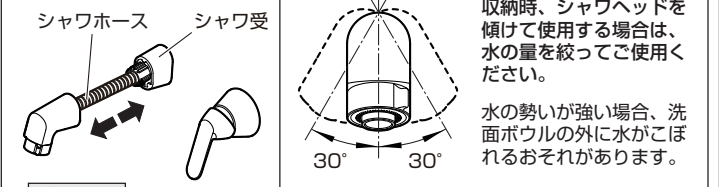


レバーを湯側にまわしても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側にまわしてください。

シャワヘッド（切替）で整流吐水・シャワ吐水に切替えができます。



- シャワ受は動きません。
- シャワヘッド（切替）は引き出せます。



- カウンター下などに収納物などを置いている場合は、シャワホースがあたらない位置に移動してください。シャワホースにあたると収納性に影響を与える場合があります。
- ホースを引き出した際にホースがたるんだ場合は、ホースに手を添えて収納してください。



製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

⚠ 注意

- 次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。

●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。

●ベンジン・シンナー・ラッカー・
アルコールなどの溶剤や油類

●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤

●ナイロンたわし・メラミンフォームなど

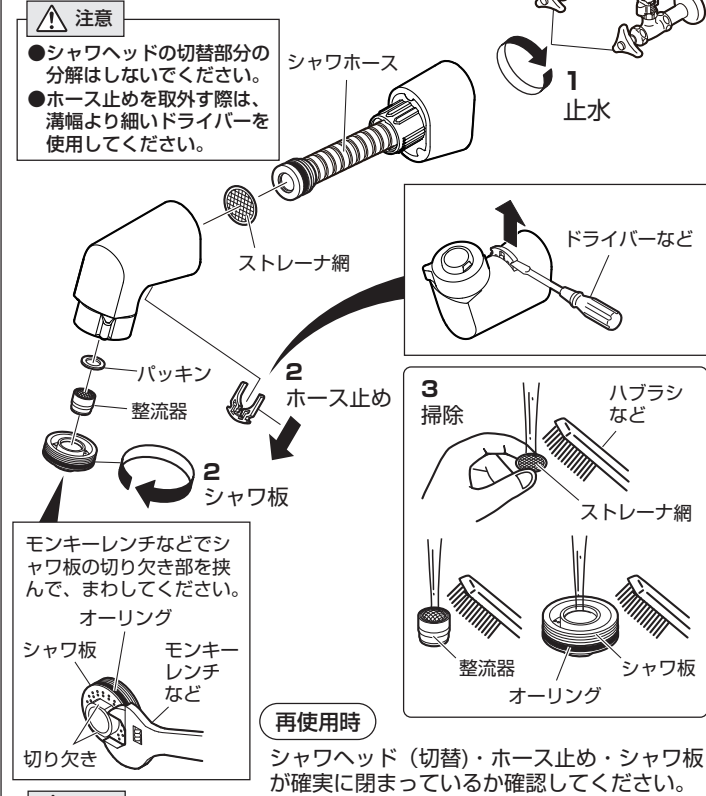


●洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。



ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。（近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 シャワホース接続部・シャワ板をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分・シャワ板を掃除します。



- バックピン・オリングが入っていることを確認してください。
 - バックピン・オリングの傷、ゴキガみに注意してください。
 - シャワ板を取付ける際は、バックピンがずれないようにご注意ください。
 - シャワ板を取付ける際は、部品の順番を間違えないように注意してください。
- 水漏れ・切替不良の原因になります。

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
-

